

V 試験研究発表題名

平成 25 年度 試験研究発表題名一覧

1. Kazuki Nanko (南光一樹), Shin Ugawa (鶴川信・鹿児島大), Masamichi Takahashi (高橋正通), Kazuhito Morisada (森貞和仁), Manabu Takeuchi (竹内学・林野庁), Yojiro Matsuura (松浦陽次郎), Shuichiro Yoshinaga (吉永秀一郎), Makoto Araki (荒木誠), Nagaharu Tanaka (田中永晴), Shigeto Ikeda (池田重人), Satoru Miura (三浦覚), Shigehiro Ishizuka (石塚成宏), Masahiro Kobayashi (小林政広), Masahiro Inagaki (稲垣昌宏), Akihiro Imaya (今矢明宏), Shoji Hashimoto (橋本昌司), Shinji Kaneko (金子真司), the Inventory Working Group (インベントリワーキンググループ). Carbon stocks of dead wood, litter, and soil in the forest sector in Japan estimated by the National Forest Soil Carbon Inventory (土壌炭素インベントリによる日本の森林の枯死木, リター, 土壌の炭素蓄積量評価). EGU general Assembly (2013), EGU2013-3666
2. 吉永秀一郎. 林業に必要な山の地質の見方. 森林技術, 853: 13-18
3. 浅野志穂, 清水晃, 吉永秀一郎, 新井場公德 (消防研究セ). 阿蘇カルデラ内壁斜面の崩壊地周辺の浸透能. 日本地すべり学会研究発表会講演集, 52: 219
4. 吉永秀一郎. 地域の森林研究のあり方とは. 森林総合研究所関西支所研究情報, 109: 1
5. Tsuyoshi Yamada (山田毅), Chisato Takenaka (竹中千里・名古屋大), Shuichiro Yoshinaga (吉永秀一郎), Keizo Hirai (平井敬三). Long-term changes in the chemical properties of Japanese cedar (*Cryptomeria japonica*) forest soils under high precipitation in southwest Japan (南西日本のスギ林土壌における多雨による土壌化学特性の長期変化). Journal of Forest Research, 18: 466-474
6. 大貫靖浩, 吉永秀一郎, 志知幸治, 荒木誠, 伊藤江利子, 釣田竜也, 松浦陽次郎, 小野賢二, 岡本透. 那珂川中流域低山帯に位置する山地小流域の土層厚分布と土壌物理特性. 地形, 35: 50-51
7. 山田毅, 中森由美子 (和歌山県林試), 伊藤愛 (静岡県森林林業研セ), 中島寛文 (愛知県森林林業技セ), 三浦覚 (東京大), 平井敬三, 吉永秀一郎, 竹中千里 (名古屋大). 多雨地域の高齢スギ林土壌における交換性塩基の蓄積と流亡 - 熊野酸性岩と四万十堆積岩での調査事例 -. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 259
8. 今矢明宏, 吉永秀一郎, 高橋正通, 金子真司. 土壌化学特性の主要樹種による相違. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 258
9. 奥田裕規, 横田康裕, 井上真 (東京大), 斎藤暖生 (東京大), 狩谷健一 (金山町森林組合). 「共有林利用の変質と活性化」 - 柗沢共有林と五反沢共有林を事例に -. 林業経済学会秋季大会発表要旨集, 2013 (http://www.jfes.org/kenkyukai/JFES_2013_Fall/theme_b.pdf)
10. 奥田裕規. 中小林家の森林経営についての考察 - 山形県金山町を事例に -. 日韓共同山村研究ワークショップ(高知支所)
11. 奥田裕規, 井上真 (東京大). 日本の山村の内発的発展とコモンズ. 森林応用研究, 22 (2): 1-11
12. 奥田裕規, 狩谷健一 (金山町森林組合). 中小林家の森林経営についての考察 - 山形県金山町を事例に -. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 185
13. 奥田裕規. 「コモンズ」を考える. 森林総合研究所関西支所研究情報, 111: 4
14. 鳥居厚志. 京都周辺の竹林の現状と NPO 等による整備活動. 竹フォーラム (竹イノベーション研究会), 2: 9-10
15. 鳥居厚志, 奥田史郎. 放置竹林の拡大・侵入被害とその駆除. 森林防疫, 63-1: 4-10
16. 鳥居厚志. 放置竹林の拡大と竹資源量およびその利用の現状と問題点. 新生産技術検証事業: 竹チップ等の用途拡大に向けた調査・検討 (日本特用林産振興会編) 資料編

17. 石塚成宏, 河室公康 (元森林総研), 今矢明宏, 鳥居厚志, 森貞和仁. 日本の森林土壌における黒色土に対する C3、C4 植物の寄与率の緯度依存と黒色土との関係. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 205
18. 山本伸幸. 佐藤仁さんの「資源論」に対するコメント. 林業経済学会研究会 BOX, 26 (環境社会学会との共同研究例会, 2)
19. 山本伸幸. 公的統計としての森林・林業統計. 興杓克久編『日本林業の構造変化と林業経営体 - 2010 年林業センサス分析 -』(農林統計協会), 12-18
20. 山本伸幸. フィンランドの 2 つの森林所有者共同組織. 森林科学, 68: 20-22
21. 山本伸幸. 北欧に学ぶ森林組合の将来. 森林総合研究所関西支所研究情報, 109: 3
22. Nobuyuki Yamamoto (山本伸幸). Comparative study of modern forest policies in Japan and Finland - A perspective as peripheral regions (日本・フィンランド近代林政の比較研究). Future Directions of Small-scale and Community-based Forestry, IUFRO3.08&6.08 Joint Conference in Fukuoka, PS011
23. 山本伸幸. フィンランド森林法・森林管理組合法改正の動向. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 72
24. 山本伸幸. 日本林政は何を持続しようとしてきたのか?. 大日本山学会シンポジウム「これからの「林業政策」を問う—林業基本法制定 50 年を迎えて」, 2013
25. Ikuhiro Hosoda (細田育広). Annual rainfall based analysis of streamflow regime dynamics following vegetation cover changes in temperate and little rain catchments in Japan (日本の温暖寡雨流域における植被変化に伴う流況変動の年降水量ベースの解析). Abstract presented Fall Meeting, AGU: H43D-1479(San Francisco, Calif., 9-13 Dec, 2013)
26. 細田育広. 伏見桃山の放置マダケ林における林内雨特性. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 263
27. 細田育広. 基盤事業: 森林水文モニタリング—竜ノ口山森林理水試験地—. 森林総合研究所関西支所年報, 54: 37
28. 森林総合研究所, 秋田県森林技術センター. 森林と水の謎を解く (2) 間伐と水流出. 森林総合研究所発行小冊子, 第 3 期 中期計画成果 15 (森林機能発揮 -9)
29. Yasuyuki Ishibashi (石橋靖幸), Junpei Zenitani (銭谷純平・北海道大), Takashi Saitoh (齊藤隆・北海道大). Male-biased dispersal causes intersexual differences in the subpopulation structure of the gray-sided vole (オスに偏った分散行動がもたらすエゾヤチネズミ個体群構造の雌雄差). Journal of Heredity, 104(5): 718-724
30. 岡本透, 藤川将之 (秋吉台科博). 江戸時代の史料からみた秋吉台の土地利用と植生. 洞窟学雑誌, 37: 1-20
31. Yoshimura Kazuhisa (吉村和久・九州大), Kurisaki Kosuke (栗崎弘輔・九州大), Okamoto Toru (岡本透), Fujikawa Masayuki (藤川将之・秋吉台科博), Ikeda Yoshifumi (池田善文・長登銅山文化交流館), Yamada Tsutomu, (山田努・東北大), Matsuda Hiroki (松田博貴・熊本大). Sulfide ore smelting at the Naganobori copper-mine site recorded on speleothems from the Ogiri No.4 mine on Akiyoshi-dai Plateau, Yamaguchi, Japan (山口県秋吉台長登銅山大切 4 号坑鍾乳石に記録された硫化鉱製錬). Abstract of The eighth International Conference on the Beginnings of the Use of Metals and Alloys, 8: J-01
32. 岡本透, 藤川将之 (秋吉台科博). 山口県秋吉台の植生と土地利用の歴史. 月刊地球, 35: 577-584
33. 吉村和久 (九州大), 池田善文 (長登銅山文化交流館), 栗崎弘輔 (九州大), 岡本透, 藤川将之 (秋吉台科博), 松田博貴 (熊本大), 山田努 (東北大). 秋吉台長登銅山大切坑石筍に記録された硫化鉱製錬. 月刊地球, 35: 594-602
34. 加藤大和, 山田努, 林原小都音 (東北大), 岡本透. 土壌分析によって明らかになった岩手県内間木地域の植生変化と鍾乳石同位体記録. 月刊地球, 35: 608-615

35. 栗崎弘輔, 中尾武史, 富田麻井 (九州大), 藤川将之 (秋吉台科博), 岡本透, 能登征美 (九電産業), 吉村和久 (九州大). 石筍が語る山口県秋吉台の土地利用と植生の変遷. 月刊地球, 35: 585-593
36. 岡本透. 温故知新 - 自然科学研究における歴史的史料活用のすすめ -. 森林立地学会シンポジウム『森林立地学における新たなアイデアの適用と応用』講演要旨集, 4-5
37. 須賀丈, 尾関雅章, 堀田昌伸, 富樫均, 浜田崇, 岸元良輔, 大塚孝一 (長野県環境保全研), 岡本透. 霧ヶ峰における火入れの延焼とその影響のモニタリング. 日本生態学会大会講演要旨集, 61: PB3-021
38. 壁谷大介, 岡本透, 齋藤智之, 伊藤江利子, 長谷川元洋. カラマツの葉の窒素濃度に対する過去の土地利用履歴の影響. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 253
39. 志知幸治, 池田重人, 岡本透, 林竜馬 (琵琶湖博). 花粉分析に基づく秋田県北西部の完新世におけるスギ林変遷. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 261
40. 池田重人, 志知幸治, 岡本透, 林竜馬 (琵琶湖博). 北秋田市上谷地における花粉分析に基づく完新世後期の山地帯スギ林の変遷. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 261
41. 岡本透. 平成 18 年 7 月豪雨災害被災地域の土砂災害の履歴とその要因. The IPU Seminar on the Environment: 1-2
42. Kazuki Miyamoto (宮本和樹), Shiro Okuda (奥田史郎), Yoshiyuki Inagaki (稲垣善之), Mahoko Noguchi (野口麻穂子), Takeharu Itou (伊藤武治). Within- and between-site variations in leaf longevity in hinoki cypress (*Chamaecyparis obtusa*) plantations in southwestern Japan (西南日本のヒノキ人工林における葉寿命のサイト内、サイト間の変動). Journal of Forest Research, 18: 256-269
43. Mahoko Mahoko (野口麻穂子), Kazuki Miyamoto (宮本和樹), Shiro Okuda (奥田史郎), Takeharu Itou (伊藤武治), Atsushi Sakai (酒井敦). Response of understory vegetation to thinning in hinoki cypress plantations in southwestern Japan (西南日本のヒノキ人工林における間伐後の下層植生変化). IAVS Symposium Vegetation patterns and their underlying processes abstracts, IAVS Symposium Vegetation patterns and their underlying processes, 56: 172
44. 奥田史郎. クズの生態と防除 (3) - クズの利用方法と防除方法 -. 林業と薬剤, 204: 19-23
45. 奥村栄朗, 奥田史郎, 酒井敦. 三本杭の落葉広葉樹林におけるニホンジカ排除柵の効果 ~ 剥皮被害防除と林床植生回復 -. 日本霊長類学会・日本哺乳類学会 2013 年度合同大会講演要旨集, 2013: 29-133
46. 奥村栄朗, 奥田史郎, 酒井敦. 南予のニホンジカによる天然林被害と植生回復試験. 森林技術連携フォーラム in えひめ発表要旨集, 3: 11
47. 宮本和樹, 酒井敦, 伊藤武治, 大谷達也, 奥田史郎. 愛媛県久万地方における長期複層林の成長過程. 応用森林学会大会研究発表要旨集, 64: 55
48. 奥村栄朗, 奥田史郎, 酒井敦. 落葉広葉樹天然林におけるシカ排除柵実験 ~ 剥皮被害の防止と林床植生の回復 -. 土佐生物学会大会講演要旨集, 108: 14-15
49. 奥村栄朗, 奥田史郎, 酒井敦. 南予・三本杭におけるニホンジカによる天然林被害と植生回復試験. 愛媛の自然誌研究ポスター発表会 (発表 No.38)
50. 奥田史郎, 大原偉樹, 山下直子, 諏訪錬平, 奥田裕規. 夏季に植栽したヒノキコンテナ苗およびセラミック苗の活着 - 岡山県新見市での造林事例 -. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 234
51. 奥村栄朗, 奥田史郎, 酒井敦. 落葉広葉樹天然林におけるニホンジカ排除柵の効果 ~ 剥皮被害防除と林床植生回復 -. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 216

52. 梶本卓也, 福島成樹, 齊藤哲, 壁谷大介, 川崎達郎, 五十嵐哲也, 奥田史郎, 右田千春, 韓慶民, 千葉幸弘, 清野嘉之. スギ人工林の花粉生産と間伐による抑制技術: 多雄花木間伐試験 4 年間の結果からみた可能性. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 82
53. 小林徹哉, 上森真広, 奥田史郎. 放置竹林の樹種転換のための基礎調査. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 256
54. 大住克博. 関西のおもしろい植物たち (1) ナラ - 作物になり損ねた樹木. 森林総合研究所関西支所研究情報, 108: 4
55. 大住克博, 奥敬一, 衣浦晴生, 黒田慶子 (神戸大), 高橋裕史. 里山管理を始めよう~持続的な利用のための手帳~ (森林総合研究所関西支所発行小冊子): 40pp
56. 大住克博. 寡雪地域においてポラード管理が行われた理由について. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 81
57. 大原偉樹, 大住克博, 吉田幸弘 (京都大). 伐採方法の異なるコナラを主とする里山林の林分構造の変化と萌芽量の比較. 応用森林学会大会研究発表要旨集, 64: 57
58. 大原偉樹. 最も長生きしている竹稈は 30 年生 - 寿命もわかる竹の研究紹介 -. 竹, 122: 5-7
59. 高橋和規. 西日本におけるコブシの衰退と保全. 日本植物分類学会大会, 13: 2a08
60. 山下直子. 関西のおもしろい植物たち (2) ミツマタ - 作物から園芸種まで幅広い用途. 森林総合研究所関西支所研究情報, 109: 4
61. 山下直子, 大原偉樹, 諏訪鍊平, 奥田史郎. 異なる育苗法のヒノキ苗の植栽初期における生理特性について. 応用森林学会大会研究発表要旨集, 64:50
62. 河原孝行, 北村系子, 山下直子, 井上健 (元信州大). 絶滅危惧植物レブンアツモリソウの個体群動態と保全について. 日本植物分類学会大会, 13: 2a07
63. 山下直子, Lei Thomas (龍谷大), 奥田史郎, 大住克博, 大原偉樹, 藤井智之 (森林総研フェロー). 里山林構成種における葉の構造的可塑性および成長との関係. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 253
64. Rempei Suwa (諏訪鍊平). Evaluation of the wave attenuation function of a coastal black pine *Pinus thunbergii* forest using the individual-based dynamic vegetation model SEIB-DGVM (個体ベースモデル SEIB-DGVM を用いた海岸クロマツ林の波高減衰機能の評価). *Journal of Forest Research*, 18: 238-245
65. 諏訪鍊平, 梶本卓也, 野口英之, 石塚森吉, Lima J.N.A. (国立アマゾン研), Ribeiro H.P.M.G. (国立アマゾン研), Santos J., Silva P.R. (国立アマゾン研), Casilda A. S. Souza (国立アマゾン研), Barros C.P. (国立アマゾン研), Higuchi Niro (国立アマゾン研). 北西ブラジルアマゾンにおける森林バイオマスと樹木相. 日本熱帯生態学会年次大会講演要旨集, 23: 28
66. Lucas Ourique (国立アマゾン研), Hideyuki Noguchi (野口英之), Casilda A. S. Souza (国立アマゾン研), Rosiane O. Silva (国立アマゾン研), Rempei Suwa (諏訪鍊平), Takuya Kajimoto (梶本卓也), Moriyoshi Ishizuka (石塚森吉), Joaquim dos Santos (国立アマゾン研), Niro Higuchi (国立アマゾン研). Relationship between litter fall and trunk increment in an old growth forest in central Amazon (中央アマゾンにおけるリターフォールと直径成長との関係). 国際ワークショップ Monitoring of Forest Ecosystems
67. Hideyuki Noguchi (野口英之), Casilda A. S. Souza (国立アマゾン研), Rosiane O. Silva (国立アマゾン研), Lucas Ourique (国立アマゾン研), Rempei Suwa (諏訪鍊平), Takuya Kajimoto (梶本卓也), Moriyoshi Ishizuka (石塚森吉), Alberto C. M. Pinto (国立アマゾン研), Adriano J. N. Lima (国立アマゾン研), Joaquim dos Santos (国立アマゾン研), Niro Higuchi (国立アマゾン研). Fine root dynamics in a Tropical moist forest of the central Amazon (中央アマゾンにおける湿潤熱帯林の細根動態). 国際ワークショップ Monitoring of Forest Ecosystems

68. Rempei Suwa (諏訪鍊平), Adriano J. N. Lima (国立アマゾン研), Gabriel H. P. M. Ribeiro, Francisco G. Higuchi, Takuya Kajimoto (梶本卓也), Moriyoshi Ishizuka (石塚森吉), Niro Higuchi (国立アマゾン研). Development of new allometric equations for biomass estimation in Amazonian forests (アマゾン熱帯林のバイオマス推定のための新しいアロメトリ式の開発). 国際ワークショップ Monitoring of Forest Ecosystems
69. Takuya Kajimoto (梶本卓也), Rempei Suwa (諏訪鍊平), Adriano J. N. Lima (国立アマゾン研), Marcio R Amaral (国立アマゾン研), Gabriel H. P. M. Ribeiro (国立アマゾン研), Francisco G. Higuchi (国立アマゾン研), Hideyuki Noguchi (野口英之), Tamotsu Sato (佐藤保), Tatsuya Otani (大谷達也), Casilda A. S. Souza (国立アマゾン研), Joaquim dos Santos (国立アマゾン研), Moriyoshi Ishizuka (石塚森吉), Niro Higuchi (国立アマゾン研). Carbon stock in Amazonian tropical forests: What do CADAF's estimates inform us? (アマゾン熱帯林の炭素蓄積量: CADAF の推定値は我々に何を示すのか?). 国際ワークショップ Monitoring of Forest Ecosystems
70. Tamotsu Sato (佐藤保), Kaoru Niiyama (新山馨), Hiroshi Tanaka (田中浩), Takeshi Toma (藤間剛), Abd. Rahman bin Kassim (マレーシア森林研), Niro Higuchi (国立アマゾン研), Keizo Hirai (平井敬三), Shigeo Iida (飯田滋生), Moriyoshi Ishizuka (石塚森吉), Yoshiyuki Kiyono (清野嘉之), Adriano José Nogueira Lima (国立アマゾン研), Dokrak Marod (カセサート大学), Yoko Osone (大曾根陽子), Alberto Carlos Martins Pinto (アマゾナス州立大), Sutedjo (ムラワルマン大学), Rempei Suwa (諏訪鍊平), Ryuichi Tabuchi (田淵隆一), Jumpei Toriyama (鳥山淳平), Warsudi (ムラワルマン大), Tsutomu Yagihashi (八木橋勉). Stocks in Coarse Woody Debris in Forest Ecosystems (森林生態系における粗大有機物の蓄積量). 国際ワークショップ Monitoring of Forest Ecosystems
71. Tatsuya Otani (大谷達也), Adriano J.N. Lima (国立アマゾン研究所), Rempei Suwa (諏訪鍊平), Marcio R. Amaral (国立アマゾン研), Shinya Ohashi (大橋伸也), Takuya Kajimoto (梶本卓也), Niro Higuchi (国立アマゾン研), Moriyoshi Ishizuka (石塚森吉). Growth of total biomass in selectively-logged forests in Amazon, Brazil (ブラジルアマゾンの択伐林のバイオマス成長). 国際ワークショップ Monitoring of Forest Ecosystems
72. 諏訪鍊平, 奥田史郎, 奥田裕規, 大原偉樹, 山下直子. ヒノキのコンテナ苗、セラミック苗、裸苗に関する植栽工程の比較. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 233
73. 大谷達也, Adriano J.N. Lima (国立アマゾン研), 諏訪鍊平, 梶本卓也, 石塚森吉, Niro Higuchi (国立アマゾン研). ブラジル、マナウス郊外の択伐林における炭素蓄積回復速度. 日本生態学会大会講演要旨集, 61: PA3-123
74. Hideyuki Noguchi (野口英之), Casilda A. S. Souza (国立アマゾン研), Rosiane O. Silva (国立アマゾン研), Rempei Suwa (諏訪鍊平), Takuya Kajimoto (梶本卓也), Moriyoshi Ishizuka (石塚森吉), Gabriel H.P.M. Ribeiro (国立アマゾン研), Adriano J.N.Lima (国立アマゾン研), Roseana P Silva (国立アマゾン研), Joaquim Santos (国立アマゾン研), Niro Higuchi (国立アマゾン研). Fine root biomass in a tropical moist forest in the upper Negro River basin, Brazilian Amazon (ブラジルアマゾンのネグロ川上流域における湿潤熱帯林の細根バイオマス). TROPICS, 22: 179-183
75. Kenichi Yoshimura (吉村謙一), Yuji Kominami (小南裕志), Chika Mori (森千佳・奈良女子大), Takafumi Miyama (深山貴文). Diurnal and daily changes in photosynthesis depending on the water usage in Japanese deciduous-evergreen mixed forest. International Sap flow Conference
76. Matsui Tetsuya (松井哲哉), Nakao Katsuhiko (中尾勝洋), Higa Motoki (比嘉基紀・高知大), Tsuyama Ikutaro (津山幾太郎), Kominami Yuji (小南裕志), Yagihashi Tsutomu (八木橋勉), Tanaka Nobuyuki (田中信行). Predicting Changes In Canopy Species Compositions After The Decline Of Beech Forest Under Climate Change Scenarios In Japan. Conference Primeval Beech Forests
77. Y Kominami (小南裕志), N Tanaka (田中信行), M Ataka (安宅未央子・京都大), I Tsuyama (津山幾太郎). Potential CO₂ efflux of CWD decomposition caused by tree species change under the climate change in Japan. International carbon dioxide conference, 9

78. Matsui T (松井哲哉), K Nakao (中尾勝洋), I Tsuyama (津山幾太郎), M Higa (比嘉基紀・高知大), Y Kominami (小南祐志), E Nakazono (中園悦子), Y Hijioka (脇岡 靖明・国環研), K Takahashi (高橋 潔・国環研), H Harasawa (原澤 英夫・国環研), N Tanaka (田中信行). Climate change impact assessment of habitat shifts for important forest trees and plants, and development of integrated model AIM/Adaptation[Policy] for conservation managers. INTECOL2013
79. Mioko Ataka (安宅未央子・京都大), Yuji Kominami (小南裕志), Mayuko Jomura (上村真由子・日本大), Kenichi Yoshimura (吉村謙一), Chiyomi Uematsu (植松千代美・大阪市立大). CO₂ efflux from leaf litter focused on spatial and temporal heterogeneity of moisture. *Journal of Forest Research*, 19: 295-300
80. 小南裕志. 森林の攪乱と CO₂ 吸収. 森林総合研究所関西支所研究情報, 110: 1
81. 安宅未央子 (京都大), 小南裕志, 深山貴文, 吉村謙一, 上村真由子 (日本大), 谷誠 (京都大). 複雑地形におけるリター量の空間分布をもたらす分解呼吸の変動特性. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 122
82. 安宅未央子 (京都大), 小南裕志, Frida Andreasson (Swedish University of agricultural sciences), 奥村智憲 (京都大), 深山貴文, 吉村謙一. 脂肪酸分析による微生物バイオマスを考慮にいれた真の従属栄養呼吸の提唱. 日本生態学会大会講演要旨集, 61: PC2-010
83. 中井裕一郎, 山野井克己, 溝口康子, 安田幸生, 大谷義一, 高梨聡, 油田さと子, 小南裕志, 深山貴文, 北村兼三, 萩野裕章. 森林総研フラックスネットの観測データ解析による森林群落の炭素収支関連パラメータ特性. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 127
84. 小南裕志, 吉村謙一, 安宅未央子 (京都大), 深山貴文. 汎用マイクロコントローラー (Arduino) を用いた樹液流測定装置の開発 —ナラ枯れ被害木への適用—. 日本生態学会大会講演要旨集, 61: PA1-079
85. 津山幾太郎, 堀田昌伸 (長野県環境保全研), 中尾勝洋, 尾関雅章 (長野県環境保全研), 比嘉基紀 (高知大), 小南祐志, 松井哲哉, 安田正次, 田中信行. 高山植生の分布変化がライチョウ生息域に及ぼす影響を推定する - 温暖化による動植物間の相互作用への影響評価 -. 日本生態学会大会講演要旨集, 61: PA1-112
86. 大貫真孝, 安宅未央子 (京都大), 小南裕志, 檀浦正子 (京都大). 短期的な落葉含水比の変化に伴う分解呼吸量と分解ポテンシャルの変動. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 122
87. 孫麗娟 (京都大), 小南裕志, 吉村謙一, 北山兼弘 (京都大). A seasonal change of root exudates on soil organic carbon decomposition among four tree species. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 115
88. 高梨聡, 檀浦正子 (京都大), 小南裕志, 中野隆志 (山梨環科研), 安間光 (京都大), 中井裕一郎. アカマツの樹体内炭素移動と光合成・呼吸速度. 日本生態学会大会講演要旨集, 61: PA1-077
89. 中嶋聖徳, 小野田洋介 (京都大), 小南裕志. 風ストレスに対応した樹形の変化 - 力学的安全率に基づいた評価 -. 日本生態学会大会講演要旨集, 61: PB2-016
90. 長倉淳子, 赤間亮夫, 重永英年, 溝口岳男, 山中高史, 田中 (小田) あゆみ, 丹下健 (東京大). 7年間窒素添加を受けたスギの養分状態の変化. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 195
91. Yasuhiro Hirano (平野恭弘・名古屋大), Masako Dannoura (檀浦正子・京都大), Toko Tanikawa (谷川東子), Keitaro Yamase (山瀬敬太郎・兵庫県森林林業技術セ), Kenichi Aono (青野健一・KANSO), Hidetoshi Ikeno (池野英利・兵庫県立大). Detection frequency can vary with orientation of roots in *Pinus thunbergii* forests using ground penetrating radar (地中レーダ法による根の検出率は根の伸長方向に左右される). Belowground carbon turnover in European forests, 39

92. Toko Tanikawa (谷川東子), Kyotaro Noguchi (野口享太郎), Kenichi Nakanishi (中西健一・三重大), Hidetoshi Shigenaga (重永英年), Junko Nagakura (長倉淳子), Hisao Sakai (酒井寿夫), Akio Akama (赤間亮夫), Masamichi Takahashi (高橋正通). Sequential transformation rates of soil organic sulfur fractions in two-step mineralization process (有機態イオウの2段階の無機化反応経路における、各段階の反応速度の推定). *Biology and Fertility of Soils*, 50: 225–237
93. 谷川東子. 酸緩衝能の異なる関西スギ林土壌の化学性. 森林総合研究所関西支所研究情報, 109:2
94. 谷川東子, 祖父江彩香 (名古屋大), 平野恭弘 (名古屋大). 酸性度の異なる土壌に成立するスギ・ヒノキ林における土壌-植物相互作用-土壌化学性の遷移-. 日本土壌肥料学会講演要旨集, 59: 11
95. 松田陽介 (三重大), 谷川東子, 矢崎一史 (京都大), 高梨功次郎 (京都大). 塩化ナトリウムが1年生クロマツ実生の生育に及ぼす影響. 中部森林学会, 3: 207
96. Toko Tanikawa (谷川東子), Yasuhiro Hirano (平野恭弘・名古屋大), Masako Dannoura (檀浦正子・京都大), Keitaro Yamase (山瀬敬太郎・兵庫県森林林業技術セ), Kenji Aono (青野健治・環境総合テクノス), Masahiro Ishii(石井政広・環境総合テクノス), Teturo Igarashi (五十嵐哲郎・環境総合テクノス), Hidetoshi Ikeno (池野英利・兵庫県立大), Yoichi Kanazawa (金澤洋一・神戸大). Root orientation can affect detection accuracy of ground-penetrating radar (樹木根の伸長方向が樹木根レーダ検出値に与える影響の評価). *Plant and Soil*, 373: 317–327
97. 谷川東子, 伊藤嘉昭 (京都大), 杉山暁史 (京都大), 山下満 (兵庫県立工業技術センター), 福島整 (物質材料研), 矢崎一史 (京都大), 平野恭弘 (名古屋大). 酸性度が大きく異なる土壌に生育するスギ・ヒノキの養分状態と酸性ストレス状態の解明. 生存圏ミッションシンポジウム, 248: No.1
98. 松田陽介 (三重大), 谷川東子, 矢崎一史 (京都大), 高梨功次郎 (京都大). 海岸林に生育する菌根菌の耐塩性機構の解明. 生存圏ミッションシンポジウム, 248: No.19
99. 谷川東子, 橋本洋平 (東京農工大), 山口紀子 (農業環境研), 伊藤嘉昭 (京都大), 福島整 (物質材料研), 神田一浩 (兵庫県立大), 上村雅治, 長谷川孝行 (シンクロトロンアナリシス LLC), 高橋正通, 吉永秀一郎. 日光七本桜テフラ (14000-15000 年前) 上に発達した melanic epipedon に存在するエステル硫酸態イオウ. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 122
100. 宮谷紘平 (名古屋大), 水澤佑紀 (名古屋大), 牧田直樹, 谷川東子, 長野里衣 (名古屋大), 平野恭弘 (名古屋大). 酸緩衝能の異なる土壌に生育するヒノキ林の細根形態と呼吸量. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 70
101. 長野里衣 (名古屋大), 岡田和樹 (名古屋大), 宮谷紘平 (名古屋大), 谷川東子, 平野恭弘 (名古屋大). 東海地方の高齢ヒノキ林における窒素負荷量と土壌無機化速度. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 70
102. 谷川東子, 橋本洋平 (東京農工大), 山口紀子 (農業環境研), 伊藤嘉昭 (京都大化研), 福島整 (物質材料研), 神田一浩 (兵庫県立大), 上村雅治, 長谷川孝行 (シンクロトロンアナリシス LLC), 高橋正通, 吉永秀一郎. 日光七本桜テフラ (14000-15000 年前) 上に発達した累積性黒ボク土にみるイオウの形態. 日本生態学会講演要旨集, 61: PB3-109
103. Motonori Okumura (奥村智憲・京都大), Mai Kamakura (鎌倉麻衣・京都大), Hiroyuki Muraoka (村岡裕由・岐阜大), Yoshiko Kosugi (小杉緑子・京都大), Takafumi Miyama (深山貴文), Kenji Tsuruta (鶴田健二・京都大), Susumu Tohno (東野達・京都大). Biogenic Volatile Organic Compound Emissions from Japanese Oak in a Cool-Temperate Deciduous Broad-Leaved Forest (冷温帯落葉広葉樹林の国内ナラ類からの生物起源揮発性有機化合物放出). *Proceedings of Synthesis Workshop on the Carbon Budget and Forest Ecosystem in the Asian Monitoring Network*, 72

104. 深山貴文, 奥村智憲 (京都大), 小南裕志, 吉村謙一, 安宅未央子 (京都大). 京都府南部における植生からのイソプレン放出特性について. 大気環境学会年会講演要旨集, 54: 327
105. Mitsutoshi Kitao (北尾光俊), Masabumi Komatsu (小松雅文), Yasutomo Hoshika (星加康智・北海道大), Kenichi Yazaki (矢崎健一), Kenichi Yoshimura (吉村謙一), Saori Fujii (藤井佐織・横浜国大), Takafumi Miyama (深山貴文), Yuji Kominami (小南裕志). Seasonal ozone uptake by a warm-temperate mixed deciduous and evergreen broadleaf forest in western Japan estimated by the Penman-Monteith approach combined with a photosynthesis-dependent stomatal model (ペンマン - モンテイス法と気孔光合成モデルの組み合わせで推定した西部日本の暖温帯落葉常緑混交広葉樹林におけるオゾン吸収の季節性). *Environmental pollution*, 184: 457-463
106. 深山貴文, 奥村智憲 (京都大), 小南裕志, 吉村謙一, 安宅未央子 (京都大). 森林周辺におけるイソプレンの空間分布特性. 日本森林学会大会講演要旨集, 125: 127
107. 深山貴文. 森の日傘の広げ方. 森林総合研究所関西支所研究情報, 111: 3
108. 奥村智憲 (京都大), 井勢卓也 (京都大), 谷晃 (静岡県立大), 深山貴文, 小南裕志, 東野達 (京都大). スギ葉のモノテルペン放出に葉温と光強度が与える影響. *Eco-Engineering*, 25(4) : 117-121
109. 海堀正博 (広島大), 木下篤彦 (土木研), 高原晃宙 (土木研), 多田泰之, 堀大一郎 (国際航業). 2013年7月28日に山口県東部および島根県西部で発生した局地的集中豪雨による土砂災害(災害報告). *新砂防*, 66 (4): 48-55
110. 多田泰之, 矢部 浩 (鳥取県農林水産部農林総合研究所林業試), 小山 敢 (鳥取県農林水産部農林総合研究所林業試), 大丸裕武, 三森利昭, 河合隆行 (新潟大), 土屋竜太 (三重大). 平成 23 年と明治 26 年に鳥取県で発生した水害の特徴とその差異. 砂防学会研究発表会概要集, 2013: 300-301
111. 多田泰之. 山地の地形・地質構造と崩壊場所の特徴—地下流水音の測定結果からみえたもの—. 日本森林学会大会講演要旨集, 125: 64
112. Hirooka Yuuri (廣岡裕吏), Akiba Mitsuteru (秋庭満輝), Ichihara Yu (市原優), Masuya Hayato (升屋勇人), Takahata Yoshihiro (高畑義啓), Suda Tomohisa (壽田智久・福島県中農林事務所), Yada Yutaka (矢田豊・石川県), Yamamoto Shigehiro (山本茂弘・静岡県農林技術研森林・林業研セ), Kubono Takanori (窪野高徳). A novel approach of preventing Japanese cedar pollen dispersal that is the cause of Japanese Cedar Pollinosis (JCP) usin pollen-specific fungal infection. *PLOS ONE*, 8: 1-8
113. 相川拓也, 中村克典, 市原優, 前原紀敏, 水田展洋 (宮城県大河原地方振興事務所). 同一マツ枯死木から脱出したマツノマダラカミキリ成虫が保持するマツノザイセンチュウ数の変異—津波被害によって発生した枯死木の事例—. 森林防疫, 62:130-134
114. 升屋勇人, 市原 優, 佐橋憲生. 樹木枝内生菌の多様性と主要種間の拮抗関係. 東北森林科学会大会講演要旨集, 18: 43
115. 中村克典, 相川拓也, 市原優, 小澤洋一 (岩手県林業技術セ), 蓬田英俊 (岩手県林業技術セ). 東日本大震災で火災に遭ったアカマツ林におけるつちくらげ病の発生. 東北森林科学会大会講演要旨集, 18: 42
116. Katsunori Nakamura (中村克典), Noritoshi Maehara (前原紀敏), Takuya Aikawa (相川拓也), Yu Ichihara (市原優), Hajime Kosaka (小坂肇), Etsuko Kagaya (加賀谷悦子), Hisahsi Sugita (杉田久志), Takashi Masaki (正木隆), Koki Kimura (木村公樹・青森県林業研), Jun-ichi Kon (今純一・青森県林業研), Tomonori Kaneko (金子智紀・秋田県森林技術セ). A research project to develop strategic action plan in the pine-wilt-disease unaffected area in northern Japan (北日本のマツ材線虫病未被害地における戦略的防除計画の発展のための研究プロジェクト). Pine Wilt Disease Conference 2013, 15–18 October 2013 Braunschweig, Germany Scientific meeting IUFRO unit 7.02.10 and FP 7 EU-Research Project REPHRAME

117. Katsunori Nakamura (中村克典), Takuya Aikawa (相川拓也), Yu Ichihara (市原優), Noritoshi Maehara (前原紀敏), Nobuhiro Mizuta (水田展洋・宮城県大河原地方振興事務所). Inhabitation of the pinewood nematode and its vectors in the tsunami-damaged *Pinus thunbergii* and *P. densiflora* trees (津波被害を受けたクロマツとアカマツにおけるマツノザイセンチュウと媒介昆虫の生育阻害). IUFRO / REPHRAME International Conference on Pine Wilt Disease 2013, 105
118. 田端雅進, 中村仁 (果樹研), 小岩俊行 (岩手県林業技術セ), 市原優, 相川拓也, 竹本周平. ウルシ林に発生した白紋羽病とその防除. 漆サミット 2013 in 輪島-漆文化と漆産業の再興を目指して-報告書, :13
119. 市原優, 窪野高德. スギ黒点病菌の感染時期に関与するスギ雄花成分. 応用森林学会大会研究発表要旨集, 64: 31
120. 杉田久志, 高橋利彦 (木工舎「ゆい」), 長池卓男 (山梨県森林総研), 市原 優. 積雪下地表面温度が亜高山帯性針葉樹の実生の生残に及ぼす影響-富士山、早池峰、八幡平の比較-. 日本生態学会講演要旨集, 61: C1-02
121. 升屋勇人, 市原優, 佐橋憲生. 樹木枝内生菌の多様性と宿主に対する生態的役割. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 145
122. 窪野高德, 市原優, 阪上宏樹 (九州大). 菌類を利用した花粉症起因植物に対する花粉飛散防止効果の検討. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 145
123. 山口岳広, 石原誠, 升屋勇人, 市原優, 神崎菜摘. 北海道南西部におけるニレ類衰退木の発生実態. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 147
124. 市原優. コナラの更新と菌害. 森林総合研究所関西支所研究情報, 111: 2
125. 原若輝 (筑波大), 山路恵子 (筑波大), 市原優. ブナ科樹木萎凋病におけるアカガシとマテバシイの防御物質の同定. 日本生態学会講演要旨集, 61: PB2-049
126. 市原優, 中島忠一, 升屋勇人, 加藤厚. コナラ心材抽出物に認められた抗菌物質. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 220
127. 中村克典, 相川拓也, 市原優, 前原紀敏, 水田展洋 (宮城県大河原地方振興事務所). 津波被害マツ枯死木から脱出したマツノマダラカミキリのマツノザイセンチュウ保持状況. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 271
128. 石川尚人 (京都大), 加藤義和 (京都大), 富樫博幸 (京都大), 吉村真由美, 由水千景 (京都大), 奥田昇 (京都大), 陀安一郎 (京都大). アミノ酸窒素安定同位体比を用いた河川食物網解析. 日本地球惑星科学連合大会予稿集, 2013: HTT32-05
129. Mayumi Yoshimura (吉村真由美). Variations in stable isotope ratios of carbon (d13C) and nitrogen (d15N) in different body parts and eggs of adult stoneflies (*Plecoptera*) (カワゲラ成虫の各部位と卵における安定同位体比のちがいについて). *Physiological Entomology*, 38: 226-232
130. 石川尚人 (京都大), 富樫博幸 (京都大), 加藤義和 (京都大), 吉村真由美, 徳地直子 (京都大), 陀安一郎 (京都大). スギ人工林の伐採施業が溪流生態系を流れる炭素の 14C 年代に及ぼす影響. 日本陸水学会大会講演要旨集, 78: 115
131. 吉村真由美. カワゲラの生態と炭素・窒素安定同位体比. 日本陸水学会大会講演要旨集, 78: 131
132. 吉村真由美. 福島第一原発事故による放射性物質の放出とそれによる水生昆虫等の汚染. 日本昆虫学会大会講演要旨集, 73: 74

133. Hiroyuki Togashi (富樫・京都大), Yoshikazu Kato (加藤・京都大), Naoto F. Ishikawa (石川・京都大), Yukihiro Komatsu (神松・京都大), Chikage Yoshimizu (由水・京都大), Mayumi Yoshimura(吉村), Nobuhito Ohte (大手・東京大), Naoko Tokuchi (徳地・京都大), Ichiro Tayasu (陀安・京都大). Allochthonous versus Autochthonous resources contribution to aquatic food webs in from clear-cut to old-growth forested streams: Results from nitrogen isotopic ratio of amino acids (林齢に伴う水生生物の食物網の変化: アミノ酸同位体比からの結果から). International Symposium on Connectivity of Hills, Humans and Oceans, Program Book: 9-10
134. 吉村真由美. 中国における溪流酸性化に伴う水生昆虫群集の変化. 森林総合研究所関西支所研究情報, 110: 2
135. Taira, A (平・大阪府大), Yoshimura M (吉村), Tanida K (谷田・大阪府大). Life cycle and habitat preferences of *Rhyacophila kuramana* (Trichoptera, Rhyacophilidae) at the spring seepage zone on rock surface (ナガレトビケラ *Rhyacophila kuramana* の生活史と生息場所選好性について). Biology of Inland Waters, supplement, 27-2: 125-136
136. 吉村真由美. カワゲラの生態と炭素・窒素安定同位体比. 昆虫と自然, 48 (12): 27-30
137. Mayumi Yoshimura (吉村真由美), Akio Akama (赤間亮夫). Radioactive contamination of aquatic insects in stream impacted by the Fukushima nuclear power plant accident. (福島第一原発事故による放射性物質放出の水生昆虫への影響について). Hydrobiologia, 722: 19-30
138. 吉村真由美. 原発事故による放射性物質放出とそれによる水生生物への放射能汚染の現状. 水利科学, 335: 63-72
139. Mayumi Yoshimura (吉村真由美). Diel response of EPT families to light traps in broad-leaved and planted coniferous forest basins, Japan (広葉樹林と針葉樹林における EPT (カゲロウ・カワゲラ・トビケラ) の光への反応周期について). Biological Rhythm Research, 45-2: 143-156
140. 吉村真由美, 赤間亮夫. 福島第一原発事故による放射性物質の放出と水生昆虫等の汚染. 日本応用動物昆虫学会大会講演要旨集, 58: 196
141. 吉村真由美, 赤間亮夫. 福島第一原発事故による放射性物質の放出とそれによる水生昆虫等の汚染. 日本生態学会講演要旨集, 61: PB3-018
142. 高橋裕史. 食べ尽くされた森でさらにふえるシカ. 森林科学, 68: 31-34
143. 高橋裕史, 井上巖夫 (京都府), 芝原淳 (京都府), 野崎愛 (京都府), 境米造 (京都府), 西村義一 (京都府猟友会), 小泉透. 森林用ドロップネットで効率よくシカを捕獲する. 森林総合研究所研究成果選集, 2013: 48-49
144. 高橋裕史, 井上巖夫 (京都府), 芝原淳 (京都府), 野崎愛 (京都府), 境米造 (京都府), 西村義一 (京都府猟友会), 小泉透. 森林用ドロップネットで効率よくシカを捕獲する. 林業新技術, 2013: 11-12
145. Takashi Ikeda (池田敬・東京農工大), Hiroshi Takahashi (高橋裕史), Hiromasa Igota (伊吾田宏正・酪農学園大), Koichi Kaji (梶光一・東京農工大). Comparison of mark-resight from road surveys and camera traps, and camera traps without marking for estimating deer populations in Japan (ロードカウントとカメラトラップによる標識再視, および未識別カメラトラップとのシカ生息数推定の比較). The 11th International Mammalogical congress Abstracts, 2013: P-184
146. Koichi Kaji (梶光一・東京農工大), Masami Miyaki (宮木雅美・酪農学園大), Hiroshi Takahashi (高橋裕史), Tsuyoshi Yoshida (吉田剛司・酪農学園大). Impact of population irruption of sika deer on vegetation and feedback effects on their life history on Nakanoshima Island, Hokkaido (洞爺湖中島におけるシカ個体群の爆発的増加による植生影響とシカ生活史へのフィードバック効果). International Mammalogical congress Abstracts, 11: O37-6

147. 松浦友紀子, 高橋裕史, 伊吾田宏正 (酪農学園大), 池田敬 (東京農工大), 東谷宗光 (酪農学園大), 梶光一 (東京農工大), 日野貴文 (酪農学園大), 吉田剛司 (酪農学園大). シカ個体数調整のための捕獲手法の評価. 日本哺乳類学会大会講演要旨集, 2013: 262
148. 池田敬 (東京農工大), 松浦友紀子, 高橋裕史, 吉田剛司 (酪農学園大), 村井拓成 (酪農学園大), 梶光一 (東京農工大). カメラトラップを用いた密度推定手法のニホンジカ個体群への実用性. 日本哺乳類学会大会講演要旨集, 2013: 264
149. 東谷宗光 (酪農学園大), 松浦友紀子, 伊吾田宏正 (酪農学園大), 高橋裕史, 池田敬 (東京農工大), 吉田剛司 (酪農学園大), 梶光一 (東京農工大). 餌資源制限下において子ジカは母親の影響をどれだけ受けるのか?. 日本哺乳類学会大会講演要旨集, 2013: 191
150. 石崎真理 (東京農工大), 竹下和貴 (東京農工大), 吉田剛司 (酪農学園大), 伊吾田宏正 (酪農学園大), 高橋裕史, 池田敬 (東京農工大), 三ツ矢綾子 (東京農工大), 久保麦野 (東京大), 梶光一 (東京農工大). ニホンジカ個体群崩壊に伴う歯の摩滅と体サイズの変化. 日本哺乳類学会大会講演要旨集, 2013: 159
151. 高橋裕史, 松浦友紀子, 村井拓成 (酪農学園大), 池田敬 (東京農工大), 東谷宗光 (酪農学園大), 日野貴文 (酪農学園大), 吉田剛司 (酪農学園大). 支笏湖畔の人気温泉旅館でシカを捕獲する. 日本哺乳類学会大会講演要旨集, 2013: 133
152. 池田敬 (東京農工大), 松浦友紀子, 高橋裕史, 吉田剛司 (酪農学園大), 梶光一 (東京農工大). 北海道支笏湖畔におけるミクروسケールでのエゾシカの生息地利用. 第19回「野生生物と社会」学会大会講演要旨集: 81-82
153. 高橋裕史, 芝原淳 (京都府農林水産技術セ森林技術セ), 野崎愛 (京都府農林水産技術セ森林技術セ), 井上巖夫 (京都府), 境米造 (京都府農林水産技術セ森林技術セ), 西村義一 (京都府猟友会), 小泉透. 森林用ドロップネットを用いたニホンジカの捕獲. 森林防疫, 62(6): 35-42
154. 松浦友紀子, 高橋裕史, 荒木奈津子 (占冠村), 伊吾田宏正 (酪農学園大), 池田敬 (東京農工大), 東谷宗光 (酪農学園大), 村井拓成 (酪農大), 吉田剛司 (酪農学園大). 森林用囲いわなと銃器を組み合わせた捕獲手法の有効性. 森林防疫, 62(6): 29-34
155. 高橋裕史. シカの捕獲方法を増やす. 森林総合研究所関西支所研究情報, 110: 3
156. 山本さつき (東京農工大), 松浦友紀子, 伊吾田宏正 (酪農学園大), 日野貴文 (酪農学園大), 高橋裕史, 池田敬 (東京農工大), 吉田剛司 (酪農学園大), 鈴木正嗣 (岐阜大), 梶光一 (東京農工大), 東谷宗光 (酪農学園大), 鈴木馨 (東京農工大). ニホンジカ (*Cervus nippon*) における捕獲に伴うストレスの生理学的評価. 哺乳類科学, 53(2): 321-329
157. 高橋裕史, 芝原淳 (京都府農林水産技術セ森林技術セ), 野崎愛 (京都府農林水産技術セ森林技術セ), 境米造 (京都府農林水産技術セ森林技術セ), 井上巖夫 (京都府), 西村義一 (京都府猟友会), 小泉透. 森林用ドロップネットで効率よくシカを捕獲する. 新たなシカ管理に向けて (森林総合研究所発行小冊子, 第3期中期計画成果12 (森林機能発揮-6)): 12-13
158. 高橋裕史, 芝原淳 (京都府農林水産技術セ森林技術セ), 野崎愛 (京都府農林水産技術セ森林技術セ), 境米造 (京都府農林水産技術セ森林技術セ), 井上巖夫 (京都府), 西村義一 (京都府猟友会), 小泉透. 森林用ドロップネットで効率よくシカを捕獲する. 「林業被害軽減のためのシカ個体管理技術の開発」研究成果集 (森林総合研究所発行小冊子, 第3期中期計画成果13 (森林機能発揮-7)): 14-15
159. 高橋裕史. 2.6.3 動物による食害を防ぐ. 里山管理を始めよう～持続的な利用のための手帳～ (森林総合研究所関西支所発行小冊子): 18-19

160. 三好岩夫 (京都府大), 深町加津枝 (京都大), 高橋裕史, 奥敬一. 嵐山国有林の治山事業施工地における植生回復. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 211
161. 関伸一. 書評「鳥」. どうぶつと動物園, 690: 43
162. 安田雅俊, 関伸一, 小高信彦, 八代田千鶴. ワイルドライフイメージング研究会 (第2回)「1年間, 放ってみる」. 第29回日本霊長類学会・日本哺乳類学会 2013年度合同大会プログラム・講演要旨集: 36
163. 関伸一, 小林宏忠. 関西支所構内の野生鳥獣. 森林総合研究所関西支所研究情報, 110: 4
164. 関伸一. シロハラ—物静かな冬の訪問者. グリーン・エージ, 480: 28-29
165. 安藤温子 (京都大), 小川裕子 (多摩動物園), 兼子伸吾 (福島大), 高野肇, 関伸一, 鈴木創 (小笠原自然文化研), 堀越和夫 (小笠原自然文化研), 井鷲裕司 (京都大). Genetic structure of the critically endangered Red-headed Wood Pigeon *Columba janthina nitens* and its implications for the management of threatened island populations (絶滅危惧種アカガシラカラスバトの遺伝的構造と絶滅の恐れのある島嶼集団の保全への意味). *Ibis*, 156: 153-164
166. 佐藤重穂, 関伸一. 九州山地における外来種ソウシチョウの生息密度と在来鳥類群集の20年間の变化. 日本生態学会講演要旨集, PB3-045
167. 安田雅俊, 八代田千鶴, 栗原智昭 (MUZINA Press). 九州において絶滅のおそれのあるニホンカモシカを自動撮影カメラで調査する. 日本動物学会九州支部 (第66回), 九州沖縄植物学会 (第63回), 日本生態学会九州地区大会 (第58回) 合同熊本大会講演要旨集: 17
168. 八代田千鶴. 森のめぐみを受け取る. ワイルドライフフォーラム, 18 (1): 巻頭
169. 八代田千鶴, 森元萌弥 (岐阜大), 中須真史 (宮川森林組合), 岡本宏之 (宮川森林組合), 鈴木正嗣 (岐阜大). 広葉樹植栽地における誘引狙撃法の試行. 第29回日本霊長類学会・日本哺乳類学会 2013年度合同大会プログラム・講演要旨集: 231
170. 八代田千鶴, 榎木勉 (九州大), 小泉透. 誘引狙撃法によるシカ個体数削減と被害軽減効果の検証. 第29回日本霊長類学会・日本哺乳類学会 2013年度合同大会プログラム・講演要旨集: 134
171. 安田雅俊, 八代田千鶴, 栗原智昭 (MUZINA Press). 祖母山系における自動撮影カメラであきらかになった中大哺乳類の分布. 第29回日本霊長類学会・日本哺乳類学会 2013年度合同大会プログラム・講演要旨集: 126
172. 安田雅俊, 八代田千鶴, 関伸一, 小高信彦. ワイルドライフイメージング研究会 (第2回)「機種間比較をしてみる」. 第29回日本霊長類学会・日本哺乳類学会 2013年度合同大会プログラム・講演要旨集: 36
173. 小泉透, 大橋正孝 (静岡県森林・林業研究セ), 荒木良太 (自然環境研究セ), 坂元邦夫 (静岡森林管理署), 早川五男 (NPO 法人若葉), 岩崎秀志 (NPO 法人若葉), 八代田千鶴. 誘引刺激に対する野生ニホンジカの行動反応. 第29回日本霊長類学会・日本哺乳類学会 2013年度合同大会プログラム・講演要旨集: 135
174. 榎木勉 (九州大), 内海泰弘 (九州大), 矢部恒明, 八代田千鶴, 小泉透, 久保田勝義 (九州大), 鍛冶清弘 (九州大), 壁村勇二 (九州大), 椎葉康喜 (九州大), 南木大祐 (九州大), 長慶一郎 (九州大), 山内康平 (九州大). 誘引狙撃によるニホンジカの個体数管理がスギ苗木の生育に及ぼす影響. 九州森林学会大会, 69: 505
175. 安田雅俊, 八代田千鶴, 栗原智昭 (MUZINA Press). カモシカを自動撮影するための10ヶ条. サインポスト (熊本野生生物研究会機関誌), 28 (3)
176. 八代田千鶴. 野生動物管理における今後の展望 - 被害防止と体制構築の取り組み -. 森林総合研究所四国支所森林野生動物研究会共催公開シンポジウム要旨集, 9-10

177. 八代田千鶴. シカの行動を制御して効率よく捕獲する. 平成 25 年度独立行政法人森林総合研究所公開講演会 + オープンラボ講演要旨集, 25
178. 八代田千鶴, 小泉透, 榎木勉 (九州大). 誘引狙撃法によるシカ捕獲技術の検証. 森林防疫, 62(6): 43-47
179. 榎木勉 (九州大), 矢部恒晶, 八代田千鶴, 小泉透. 誘引狙撃によるシカ個体数管理が苗木の食害軽減におよぼす影響. 森林防疫, 62(6): 43-47, 54-57
180. 八代田千鶴, 森元萌弥 (岐阜大), 中須真史 (宮川森林組合), 岡本宏之 (宮川森林組合), 鈴木正嗣 (岐阜大). 広葉樹植栽地におけるシカの出没に影響する要因. 「野生生物と社会」学会大会, 19: 96
181. 八代田千鶴. 男女共同参画学協会連絡会 第 3 回大規模アンケート調査結果報告. 「野生生物と社会」学会大会, 19: 97
182. 八代田千鶴, 岩井雪之 (早稲田大). 男女共同参画: 野生動物と向き合う女性たち第二弾 管理から利活用まで. 「野生生物と社会」学会大会, 19: 40
183. 山内健生 (富山県衛生研), 高野愛 (山口大), 近藤誠司 (北海道大), 秦 寛 (北海道大), 八代田千鶴, 鈴木正嗣 (岐阜大). 北海道南部のエゾシカから得たヒメシカシラミバエ. 日本生物地理学会会報, 68: 33-35
184. 八代田千鶴, 小泉透. シカの行動を制御して効率よく捕獲する. 新たなシカ管理に向けて (森林総合研究所発行小冊子, 第 3 期中期計画成果 12 (森林機能発揮 -6)): 8-9
185. 八代田千鶴. シカの行動を制御して効率よく捕獲する. 「林業被害軽減のためのシカ個体管理技術の開発」研究成果集 (森林総合研究所発行小冊子, 第 3 期中期計画成果 13 (森林機能発揮 -7)): 16-17
186. 八代田千鶴. 特集 2 私が銃をもったわけ. ワイルドライフフォーラム, 18(2): 20
187. 八代田千鶴. シカの行動を制御して効率よく捕獲する. 森林・林業交流研究発表集録, 2013: 131-133
188. 福田秀志, 森川尚季 (日本福祉大), 小堀英和 (樹木医会愛知), 衣浦晴生. 愛知県知多半島で行ったナラ枯れの総合防除とその効果 (Ⅲ) - 総合防除 3 年目の効果 -. 樹木医学研究, 17 (2)
189. 衣浦晴生, 後藤秀章. ナラだけではないナラ枯れ. JATAFF ジャーナル, 1 (5) : 14-18
190. 衣浦晴生. 「マツ枯れ」と「ナラ枯れ」. 森林総合研究所関西支所研究情報, 108: 1
191. 衣浦晴生 (監修). カシナガ君の暮らし. 高槻市教育委員会発行, 編集: あくあびあ芥川共同活動体
192. 衣浦晴生. ナラ枯れの現状と対策について. 都市と自然, 451: 4-7
193. 所雅彦, 衣浦晴生, 後藤秀章. カシノナガキクイムシ加害木の揮発性成分について. 関東森林学会大会講演要旨集, 3: 23
194. 福田秀志, 平田晋一 (日本福祉大), 小堀英和 (樹木医会愛知), 衣浦晴生. 改良されたナラ枯れ防除法の効果と知多半島における被害拡大状況. 樹木医学会大会要旨集, 18: 18
195. 衣浦晴生, 吉村謙一, 小南裕志, 深山貴文. ナラ枯れ予防殺菌剤を樹幹注入したコナラの光合成・樹液流速度. 応用森林学会研究発表要旨集, 64: 38
196. 衣浦晴生. コラム ナラ枯れ. 里山管理を始めよう～持続的な利用のための手帳～ (森林総合研究所関西支所発行小冊子): 3

197. 衣浦晴生. コラム ナラ枯れ被害木の処理. 里山管理を始めよう～持続的な利用のための手帳～ (森林総合研究所関西支所発行小冊子): 15
198. 衣浦晴生. コラム ナラ枯れ材の薪利用. 里山管理を始めよう～持続的な利用のための手帳～ (森林総合研究所関西支所発行小冊子): 27
199. 栗生 剛, 中森 由美子 (和歌山県林試), 衣浦晴生, 長谷川絵里. ウバメガシの伐倒処理によるカシノナガキクイムシの発生頭数. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 269
200. 所雅彦, 栗生剛, 斉藤正一, 衣浦晴生. 太平洋型カシノナガキクイムシ穿入木の揮発性成分について. 日本応用動物昆虫学会大会講演要旨集, 58: 51
201. 衣浦晴生, 所雅彦, 後藤秀章. スダジイへのナラ枯れ予防薬剤注入によるナラ菌伸張抑制効果の検討. 林業と薬剤, 207: 1-6
202. 衣浦晴生, 所雅彦, 後藤秀章, 長谷川絵里. 殺菌剤を樹幹注入したスダジイへのナラ菌の接種. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 148
203. 衣浦晴生. 平成 25 年度伊豆諸島におけるカシノナガキクイムシ実態調査・薬剤注入手法調査報告書. 東京都環境局自然環境部
204. 長谷川絵里. サクラの病害と系統. 森林科学, 2014(70): 17-20
205. 長谷川絵里, 秋庭満輝, 高畑義啓, 石原誠, 佐橋憲生. サクラの病害 (幼果菌核病と斑点性病害) (てんぐ巣病).. サクラ保存林ガイド - DNA・形質・履歴による系統保存 -, 森林総合研究所発行,
206. 濱口京子. 日本産カシノナガキクイムシの地域変異について. 森林防疫, 62: 109-116
207. 楠本大 (東京大), 升屋勇人, 平尾聡秀 (東京大), 後藤秀章, 濱口京子, Wen-I Chou (台東大), Wiwat Suasa-ard (カセサート大), Sawai Buranapanichpan (チェンマイ大), Sapon Uraichuen (カセサート大), Oraphan Kern-asa (カセサート大), Sunisa Sanguansub (カセサート大), Aumporn Panmongkol (ドイツステープ プイ国立公園), Thu Pham Quang (ベトナム大), Sjh Kahono (リピ生物学研究セ), Heddy Julistiono (リピ生物学研究セ), 鎌田直人 (東京大). Discoloration induced by *Raffaelea quercivora* isolates in *Quercus serrata* logs and its relation to phylogeny: a comparison among isolates with and without the Japanese oak wilt incidence including outside of Japan (コナラ丸太の脱色とナラ菌の系統との関係: 海外を含むナラ枯れ発生地アイソレートと未発生地のアイソレートとの比較). *Journal of Forest Research*, 19: 404-410
208. 筒井容子 (神戸大), 前藤薫 (神戸大), 濱口京子, 伊崎陽介 (神戸大), 高見 泰興 (神戸大), 内藤親彦 (神戸大), 三浦一芸 (近畿中国四国農業研究セ・広島大). Apomictic parthenogenesis in a parasitoid wasp *Meteorus pulchricornis*, uncommon in the haplodiploid order Hymenoptera (ギンケハラボソコマユバチで見つかった半倍数性膜翅目の産雌性単為生殖). *Bulletin of Entomological Research*, 104: 307-313
209. 齋藤和彦. 森林 GIS への期待. 森林総合研究所関西支所研究情報, 111: 1
210. 奥敬一. 森林ボランティアで活動する理由. 森林総合研究所関西支所研究情報, 108: 2
211. 奥敬一. 里山林の生態系サービスを発揮するための課題と農村計画の役割. 農村計画学会誌, 32(1): 20-23
212. 奥敬一. Traditional Working Woodlands Satoyama: Its History and Future. *International Symposium on Agroforestry, Symposium Proceedings*, 2013: 16-17
213. 奥敬一. 民家がつくる里山, 里山がつくる民家, そして民家がつくる人. 農村計画学会誌, 32(2): 121-124

214. 奥敬一. 里山林を使い直すための視点. 森林と林業, 2013(9): 4-5
215. 奥敬一. 里山からの薪の利用を見直す. 農業日誌, 2014
216. 奥敬一. 文化的景観と里山保全. 文化的景観研究集会報告集: 文化的景観のつかい方, 5: 26-32
217. 奥敬一. 自然公園は山村の文化的景観を守れるか. 歴博, 182: 19
218. 三好岩生(京都府立大), 深町加津枝(京都大), 高橋裕史, 奥敬一. 嵐山国有林の治山事業施工地における植生回復. 日本森林学会大会講演要旨集, 125: 211
219. 奥敬一. 里山林生態系からの供給サービスを文化的サービスへ拡張する装置としての薪ストーブ. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 190
220. 田中邦宏, 近口貞介, 榎山真司. 毎木調査方法の効率向上への取り組みについて. 日本森林学会大会学術講演集, 125: 88
221. 田中邦宏, 齋藤和彦, 近口貞介, 榎山真司. 茗荷淵山(三重県熊野市)ヒノキ収穫試験地定期調査報告 - 三重県南部の温暖な地域におけるヒノキ林の成長について -. 関西支所年報, 2013(54): 36-38
222. 田中邦宏. 間伐林と無間伐林における収穫量と成長量. 森林総合研究所関西支所研究情報, 108:3
223. 田中邦宏, 近口貞介, 榎山真司. ピンクテープの活用による固定試験地での定期毎木調査の効率化について. 応用森林学会大会研究発表要旨集, 64: 23